



夏の日差しの中、気持ちよさそうにカヌーを楽しんだ

## 水の上をス～イスイッ！

小学生のカヌー教室

夏休みにカヌーの楽しさを知ってもらおうと8月9日から3日間、「小学生カヌー教室」が行われました。

教室が開かれたのは、大和B&G艇庫横のクリークで、参加したのは市内の小学4～6年生27人。三瀬高校カヌー部の指導で、初日は乗り降りやパドルの持ち方などの基礎。2日目はまっすぐ進むこと、バック、ブレーキなどを練習。子供たちはすぐ乗れるようにはなるものの、バックやブレーキでは思うようにならず、バランスを崩しそうになる場面も。3日目は班に分かれてレースを楽しみました。



熱戦を繰り広げる伝習館チーム（右）

## 日ごろの練習の成果を発揮

第9回オクイ旗近県バスケットボール親善大会

市内をはじめ近隣のバスケットボールのレベルアップを図ろうと8月20、21、27、28日、オクイ旗近県バスケットボール親善大会が伝習館高校をはじめ市内各所で開催されました。

今回で9回目になる大会は、伝習館高校でバスケットを指導し、同校や近隣のレベルアップにも貢献した奥井千代吉先生の功績を讃えようと、前回までは同校卒業生が、今回からは市バスケットボール協会が開催。小学生にも門戸を広げ、小・中・高の男女70チームが参加し、日ごろの練習の成果を発揮していました。

## 80匹のオヤニラミを放流

「二ツ川ウォッチング」で川と生き物を観察

希少な淡水魚の宝庫といわれる二ツ川を舟で下りながら、川の重要性や魚の生態などを学ぼうと8月7日、「二ツ川ウォッチング」が開催されました。市教育委員会と企画室ふるさと三橋が主催しました。

ウォッチングには、4年生以上の小学生と保護者62人が参加。三橋公民館で、二ツ川に住む魚や川の歴史を学習した後、二ツ川の水の取り入れ口である二ツ川水門へ移動。5そうのドンコ舟に分乗して、昨年12月に生まれた約5センチのオヤニラミの稚魚約80匹を放流しました。川を下りながら、川の生き物を観察。魚は網ですくって捕まえ、約10センチくらいの成魚に育ったオヤニラミを捕まえた子供もいました。二ツ川にはこれまで約40種の魚が確認されていて、そのうち12種の魚を確認することができました。ジャンプして舟の中に勢いよく飛び込んできたコイ科の魚ハスや、水の中に勢いよく潜る野鳥カイツグリ姿に子供たちの歓声が上がっていました。子供たちは、二ツ川に住む生き物たちの多様さに驚き、これからも川の自然や文化を大切にしていこうと話していました。



ドンコ舟に乗り込み二ツ川の観察に出発する参加者



歩く場所もないほどぎっしりとお客が詰めかけた

## 雨でも楽しい沖端

第2回おきのはたビアパーティ

沖端のまちづくりに取り組む沖端の商人集団「沖覧会」<sup>おきらんかい</sup>（高田雄二会長）は8月20日、「第2回おきのはたビアパーティー」を開きました。当初川下りの下船場に舟舞台をつくって開く予定でしたが、雨で会場を急きょ観光情報センターに変更。それでもジャズバンドの生演奏が聴けるとあって、約100人を超えるお客が来場しました。

会場の外では沖覧会のメンバーが、焼き鳥を焼いたり、生ビールをサービス。来場者はジャズのスタンダードナンバーなどに耳を傾けながら約2時間のライブを楽しみました。

## 苦手な魚もひと工夫

豊原小学校「親子料理教室」

豊原小学校PTA母親委員会主催の親子料理教室が7月27日、同校家庭科室で開かれ、15組36人の親子が調理実習に挑戦しました。メニューは「じゃごごはん」「サバのごまソースかけ」「切り干し大根とベーコンの炒め物」など、子どもが敬遠しがちな魚や野菜を食べやすいように工夫した5品目。4回目となる今年では初めてお父さんの参加があり、しかもプロの料理人とあって注目を集めました。児童は包丁の使い方、盛りつけ方などを大人に教わりながら調理を終えると、試食会を開き、出来栄を比べ合いました。



お母さんの見事な包丁さばきに感心した

## みんなで笑って楽しんで

高畑地区夏まつりカラオケ大会

高畑地区の夏まつりカラオケ大会が8月20日、高畑公民館で行われました。毎年この時期に、地区の女性連絡協議会が、「暑い夏をみんなで笑って楽しく過ごそう」と開催しているもので今年で7回目。

子供たちが毎年楽しみにしているこの祭りには、小さな子供からお年寄りまで約150人が参加。子供たちはミニバドミントンや輪投げ、ヨーヨー釣りなどのゲームをして楽しみ、大人たちはカラオケ大会で自慢のものを披露していました。



輪投げを楽しむ子供たち

